

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	大腸癌
治療法	mFOLFOX6+ベクティビックス併用療法

	1	2	3	4
抗癌剤・商品名	エルプラット	レボホリナート	5-FU	ベクティビックス
規格	50mg/10mL 100mg/20mL 200mg/40mL	25mg 100mg	250mg/5mL 1000mg/20mL	100mg/5mL 400mg/20mL
一般名	イリノテカン	レボホリナート	フルオロウラシル	パニツムマブ
一日投与量(規定)	150mg/m ²	200mg/m ²	400mg/m ² (ボース) 2400mg/m ² (持続静注)	6mg/kg
患者情報から算出した 一日投与量	225.17 mg	300.22 mg	ボース	600.45 mg
			持続静注	3602.69 mg
実際の投与量	220 mg	300 mg	ボース	600 mg
			持続静注	3600 mg
	146.6 mg/m ²	199.9 mg/m ²	ボース	399.7 mg/m ²
			持続静注	2398.2 mg/m ²
投与日	day1			
1クール期間	14日間			
予定クール数				
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施			

適応基準	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
推奨経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2、3、4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前)125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。 ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1. 本剤の成分又は他の白金を含む薬剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2. 機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全のある患者 3. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 4. 重篤な骨髄抑制のある患者 5. 下痢のある患者 6. 重篤な感染症を合併している患者 7. 多量の腹水、胸水のある患者 8. 重篤な心疾患又はその既往歴のある患者 9. 全身状態が悪化している患者 10. テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者及び投与中止後7日以内の患者
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm ³ 未満、血小板数: 50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●エルプラット</p> <p>重大 1.末梢神経症状 2.ショック、アナフィラキシー様症状 3.間質性肺炎、肺線維症 4.骨髄機能抑制 5.溶血性尿毒症症候群 6.視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下 7.血栓塞栓症 8.心室性不整脈、心筋梗塞 9.肝静脈閉塞症 10.急性腎不全</p> <p>その他 頭痛、味覚異常、食欲不振、悪心、嘔吐、下痢、便秘、腹痛、尿沈渣異常、蛋白尿、クレアチニン上昇、BUN上昇、尿ウロビリノーゲン異常、尿糖、AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、ALP上昇、LDH上昇、ビリルビン上昇、血清ナトリウム、カリウムの異常、血清クロール、カルシウムの異常、発疹、注射部位反応疲労、発熱、アルブミン減少、CRP上昇、総蛋白減少</p> <p>●レボホリナート</p> <p>重大 1.激しい下痢 2.重篤な腸炎 3.骨髄抑制 4.ショック、アナフィラキシー 5.白質脳症、精神・神経障害 6.うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 7.肝機能障害、黄疸 8.急性腎障害 9.間質性肺炎 10.消化管潰瘍、重篤な口内炎 11.手足症候群 12.播種性血管内凝固症候群(DIC) 13.嗅覚脱失 14.高アンモニア血症 15.急性膵炎 16.劇症肝炎、肝硬変、心室性頻拍、ネフローゼ症候群、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死融解症(TEN)、溶血性貧血</p> <p>その他 食欲不振、悪心・嘔吐、味覚異常、腹痛、心窩部痛、色素沈着、脱毛 等</p> <p>●5-FU</p> <p>重大 1.下痢 2.出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎等の重篤な腸炎 3.汎血球減少、白血球減少、好中球減少、貧血、血小板減少等 4.ショック、アナフィラキシー 5.白質脳症 6.うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 7.急性腎不全 8.間質性肺炎 9.肝機能障害、黄疸、肝不全 10.消化管潰瘍、重症な口内炎 11.急性膵炎 12.高アンモニア血症 13.肝・胆道障害 14.手足症候群 15.嗅覚障害 16.(類薬にて)劇症肝炎等の重篤な肝障害、肝硬変、心室性頻拍、ネフローゼ症候群、中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、溶血性貧血</p> <p>その他 食欲不振、下痢・軟便、全身倦怠感、悪心・嘔吐、白血球減少、口内炎(6.7%)、色素沈着(4.8%)、脱毛(3.8%)</p> <p>●ベクティビックス</p> <p>重大 1.重度の皮膚障害 2.間質性肺疾患 3.重度のInfusion reaction 4.重度の下痢 5.低マグネシウム血症 6.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)</p> <p>その他 (10%以上)口内炎、ざ瘡様皮膚炎、皮膚乾燥、爪囲炎、発疹 (0.5%以上10%未満)味覚異常、下痢、悪心、嘔吐、口唇炎、便秘、掻痒症、皮膚炎、皮膚亀裂、紅斑、皮膚剥脱、爪の障害、手掌・足底発赤知覚不全症候群、湿疹、多毛症、結膜炎、血小板減少症、白血球減少症、低カルシウム血症、食欲減退、低カリウム血症、高カリウム血症、疲労、倦怠感、注入に伴う反応、発熱</p>
備考	

mFOLFOX6+ベクティビックス併用療法 観察記録

氏名: _____ ID(_____) 年齢: (_____ 才) _____

施行日	クール	回目	施行前内服薬(_____)	入外(_____)
医師	指示医師: ベクティビックス(_____ mg) 一般名(パニツムマブ) エルブラット(_____ mg) 一般名(オキサリプラチン) レボホリナート(_____ mg) 一般名(レボホリナート) 5-FU(ポーラス: _____ mg) 一般名(フルオロウラシル) 5-FU(持続静注: _____ mg) 一般名(フルオロウラシル)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由 抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止		投与開始時間	調剤
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		前投薬が終わるまで維持する	
		生食100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A	30分かけて点滴【200mL/h】	
		生食100mL+ベクティビックス ※インラインフィルター使用	1時間かけて点滴【100mL/h】	
	5%ブドウ糖250mL +レボホリナート	ベクティビックスのアレルギー 反応の出現に注意	2時間かけて点滴【125mL/h】	
	レボホリナートと 同時に投与開始 ⇒	5%ブドウ糖250mL +エルブラット	2時間かけて点滴【 _____ mL/h】	
	5%ブドウ糖50mL+5-FU		全開で滴下(ポーラス投与)	
	5%ブドウ糖+5-FU		46時間かけて点滴	
本体終了後抜去				